



河東 ふれあい



151号
発行元
河東地区コミュニティ運営協議会
広報委員会
TEL:35-1837 FAX:35-1864
http://katou-cc.com/

アダプテッドスポーツ

9月29日(日)、年齢・性別・障がいに関わらず、誰もが楽しめるように、ルールや道具を工夫して行う“アダプテッドスポーツ”を、九州共立大学(折尾)アダプテッドスポーツ研究会の学生進行の下、河東小体育館で開催しました。

大きな風船の中に鈴を入れて行う風船バレーでは、1チームを小さな子どもから、保護者、大学生、中高年の方と幅広い年齢層で構成して、対抗戦を行いました。

参加された保護者の方からは「地域のイベントで行ってみたいは？」との意見が上がっていました。

学生の運営がうまく、楽しくみんなで体験することができました。保護者、部会員、幼児も加わり、幅広い世代で交流することができました。(青少年育成部会)



さつまいも 収穫体験に大歓声!! コミュニティスクール協働活動の場「かとコミ農園」

10月11日(金)秋晴れの下「かとコミ農園」で午前は河東小学校(140人)、午後は河東西小学校(127人)の5年生が、5月に植えたサツマイモ「紅はるか」「紅あずま」を収穫しました。(収穫量600kg)

農園実行委員が指導する中、イモづる切り、マルチはがし、イモの掘り起こしなどの作業を行いました。スコップを手にイモを傷つけないように慎重に掘り、出てきた大きなイモに子ども達は歓声を上げ喜んでいました。

また収穫後、子ども達は農園実行委員の皆さんに積極的にあいさつをし、掘り上げたイモの事など笑顔で会話しており、楽しそうな時間であったように思います。

なお収穫に先立ち10月4日(金)、7日(月)に農園実行委員がゲストティーチャーとして両校に招かれ「かとコミ農園」の成り立ち等々、多くの質問に答えながら、子ども達と一緒に

「かとコミ農園」について、話し合うことができました。

今後、収穫体験を行った子ども達には収穫したサツマイモの有効な利用、活用方法等、子ども達にできる実践、素朴なアイデアに期待したいです。

(かとコミ農園実行委員会 西田光生)



シニアオリンピック

10月10日(木)、勤労者体育センターで「河東地区シニアオリンピック」を開催しました。河東地区65歳以上の住民の方53人の参加で、ニュースポーツ5種目と「ぞうり飛ばし」を行い、得点に一喜一憂しながら楽しみました。

目的は高齢者が身体を動かす介護予防です。外出する、人と会う、会話する、体を動かし集中する、この目的を達成された皆さん、今日は1才若くなられた様子でした。

金銀銅の表彰、ブービー表彰、最高年齢参加の表彰もありました。
(健康福祉部会 石井喬志)



秋季ふれあい歩こう会

10月20日(日)、天気にも恵まれ22人(ヘルス推進員を含む)は山田ホテルの里公園を目指して歩きました。

秋の心地よい日差しの中、アサギマダラに会えることも願いつつ、みな軽快に歩を進めました。

山田ホテルの里公園に全員無事に辿り着き、「河東アサギマダラクラブ」の方からアサギマダラについてパンフレットを使い詳しく説明をしていただきました。

今回は蝶に会う事はできませんでしたが、「河東アサギマダラクラブ」の方々の説明も面白く、とても充実した歩こう会となりました。
(ヘルス推進員 小田切智史)



釣川クリーン作戦

毎年恒例の、釣川クリーン作戦が10月6日(日)午前9時からスタートしました。

各自治会ごとに、山田川・横山川・平等寺川の河川や土手の清掃作業を行いました。1991年に始まった釣川クリーン作戦も今年で33回目。河東地区コミュニティでは、昨年の参加者225人より181人と減りましたがクリーン作戦に取り組みました。年々ゴミの量は

減っていますが、まだペットボトルや空き缶など、川に捨てられていました。

今回も小学生4人の参加がありました。総合的学習で事前に「釣川の大切さ」について学んだ河東小、河東西小の子ども達でしょう。

明日の未来を築く子どもたちの参加に感謝です。
(ひかりヶ丘区長 三浦 茂)

